

ページの左右に渡って大きく描かれた見開き、  
読者の目を引く魅せどころではあるけれどうまく作らないと  
せつかくの魅せどころが台無しになってしまうかもしれません

・・・そこで

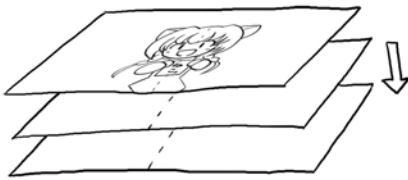
## ----☆キレイな☆見開き原稿の作り方（データ編）----

○はじめに

中綴じと無線綴じの見開き方の違いについて

### ◆中綴じの場合

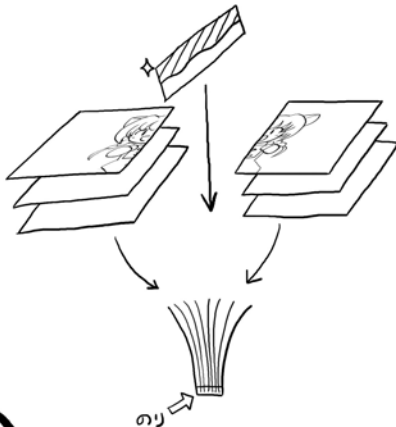
左右のページが合わせて1枚になった紙を重ねて  
中央を針金で止めて折っているの  
開くと絵は折り目の中まで見えます



※左右のページの絵が繋がっていないと  
折りの部分で繋がらず段差が出来てしまいます

### ◆無線綴じの場合

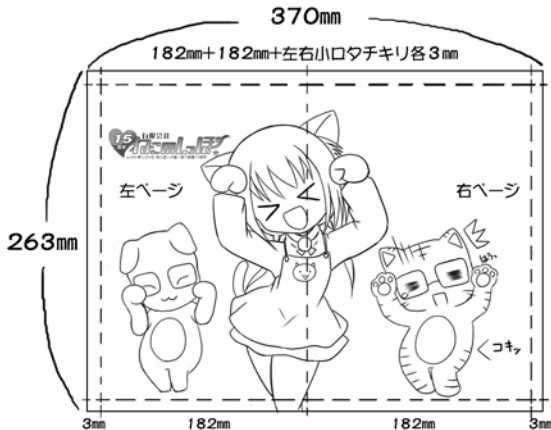
紙は1ページごと分割していて  
背に当たる部分をのり付けして本にしているの  
中央部分は奥まできれいに全て開くことができないのです



※製本の過程でのり付けされ、  
綴じ口は奥の方に埋まるような  
感じになります

○では、見開き原稿はどう作るの？  
 この場合左右繋がった状態の台紙で原稿を作成します

例 B5サイズ（タチキリ3mm）の場合



あとは左右ページとも小口側から188mmになるように  
 サイズ調整すればいいのですが、

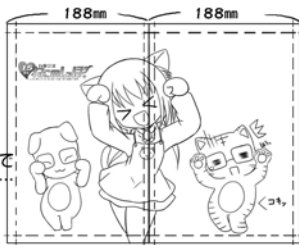
こちらで分割調整しますので見開きのデータは  
 左図のように繋がった1枚の状態のままで  
 ご入稿をおすすめします

※もちろん天地左右のタチキリ分は必要です

※ここで注意

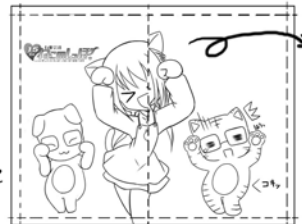
左右つなげた台紙にはノド側（綴じ口）のタチキリは不要です  
 ノド側分のタチキリをつけると、その分小口側のタチキリが  
 余計に取られることとなります

NG例 188mm×263mmを2ページ左右繋がるように使用

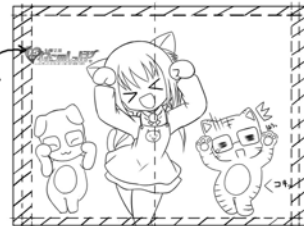


もし綴じ口側の  
 タチキリ分も含めた状態  
 で見開きを作ってしまうと...

そのままですとこのように  
 中央部分が裁ち切れた  
 状態になってしまいます

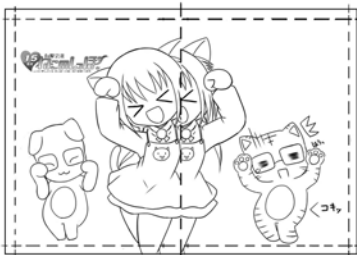


または小口のタチキリを  
 多く切ることになります



◆無線綴じでも見開きをキレイに見せたい  
 でも、ノド側がのり付けて中がくい込んでしまう・・・

そこで→くい込む部分に同じイラストを重ねるようにすると・・・  
 だいたいくい込んでるところが離れたあたりのところで絵が繋がるように調整すれば  
 無線綴じで本を開いた状態でも見開きが繋がったようにみえます



※イメージです

綴じ口と同じ絵が重なるため  
 通常の見開きより小口側が  
 多めに切れるような作りになります

調整が難しい、よく分からない、そういった場合は  
 一番上の図のように1枚に繋がった状態で大丈夫です  
 ※ただし、調整の都合上、左右の小口が  
 +5mmほど多く切れることに注意して下さい！